

番号	氏名	抱負
211	林 秀隆	昨年度より総務委員長として学会運営と新会員登録システムの構築に関わらせて頂いております。総務委員会は事務処理手続きや学会運営の基盤形成を中心に検討している縁の下での力持的な存在のため、会員の皆様とお会いして発信する機会は少ないと思いますが、学会の将来を見据えて舵取りの一端を担っている重要な役割であると自負しています。学会の発展とサービス向上に全力で取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。
212	原 孝則	高度な医療技術を迅速かつ適正に患者へと還元するためには、先進的な研究のみならず、洗練された研修プログラムの構築とその提供が重要であると考えます。私は地方公立病院で主にCT検査と超音波検査に従事し、研究活動を行ってきました。実践的な研修プログラムを学術大会で充実させ、そして診療放射線技師が今以上に高度専門職業人として身を立てられるように代議員に立候補させていただきました。よろしくお願いいたします。
213	原瀬 正敏	放射線技術の発展には、DICOM、JJ1017等の医療情報分野が非常に重要となってきました。今後も放射線技術の発展のためにも、医療情報分野からサポートしていきたいと思っております。
214	坂野 隆明	平成25年度より日本放射線技術学会医療情報部会委員として活動してきました。これまでの様々な活動を通して多くを学ばせていただきました。今後は、微力ではありますが医療情報分野の発展に少しでも貢献できるよう活動の幅をさらに広げるため代議員に立候補いたします。どうぞよろしくお願いいたします。
215	肥合 康弘	これまで私は、日本放射線技術学会での、研究発表や海外研修等に参加させていただき、診療放射線技師としての仕事、そして大学での教員としての活動を行う上で、大きな力となっていただきました。これからは、その恩返しをして行く時期だと考えています。これから技師として活躍していく若い皆さんに、少しでも役立つことが出来ればと思っています。
216	日高 国幸	診療放射線技師として入職して以来、放射線技術学に関する研究および検討を行ってきた。そろそろ、学会運営に携わり、他施設、他学会との連携交流をはかり、医療社会に貢献したいと考えている。放射線技術学に関する研究発表、知識の交換ならびに関連団体との連絡提携を図り、学術の進歩発展に寄与することを目的とする放射線技術学会の一社員としての代議員に立候補し、さらなる学術発展に寄与したい。
217	平井 寛能	国家公務員共済組合連合会 斗南病院 放射線部の平井です。この度、代議員に立候補させていただきました。現在、北海道支部の財務を務めております。微力ではございますが、技術学会の発展と医療の進歩のために努力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
218	平田 吉春	日本放射線技術学会は、「放射線技術学に関する研究発表、知識の交換ならびに関連団体との連絡提携を図り、学術の進歩発展に寄与すること」を目的とする法人であるため、それらが適正に反映される事業展開をしているのを見極め、必要に応じて意見を述べ討議や議決に参加したい。また、公益性のある事業や国際化を図る事業についても、学会の発展性の視点から見定め、意見を述べ討議や議決に参加したい。
219	平野 浩志	現在、本部理事(大会開催委員長)、関東支部長を拝命、関東支部の代議員として、本部の方向性と関東支部をはじめ地方支部会員の利益に繋がっていくための事業展開の状況および適正な会務執行がされ、また収支バランスなど経費についても、4月の総会に出席し決議している。次年度も続き、代議員として日本放射線技術学会の適正運営をチェックし、協調していきたいと考えていますので、よろしくお願い致します。
220	廣澤 文香	